

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成29年10月10日 午前10時30分開会
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	末永一朗
委員	松屋治郎
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長	立石隆教
議選監査委員	浦英明

5. 説明のため出席した者

町長	西浩三
副町長	谷良一
教育長	吉元勝信
会計管理者	蛭子晴市
総務課長	前田達也
住民課長	西村久之彦
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課政策監	木下誠子
産業振興課長	中村慶幸
農業委員会事務局長	〃
建設課長	橋本満
教育次長	尾崎孝三
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	森知佳

7. 付託を受けた事件の件名

議案第66号

平成28年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について

平成28年度小値賀町一般会計歳入歳出決算

委員長（土川重佳） おはようございます。

ただいまから決算特別委員会を開会する。

本委員会に付託された案件は、議案第 66 号、平成 28 年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定についてである。

本特別委員会の審査は本日と 11 日の 2 日間の予定である。

審査の順序として、本日は一般会計、11 日は特別会計を予定しているが、本日、万一、一般会計が終了しない場合は、11 日の特別会計の前に行いたいと思うので、ご了承願う。

審議に入る前に皆さん方にご協力お願いする。

発言については、手を挙げて委員長の指名の後、起立して行ってほしい。

質疑に対して説明していただくため出席している説明員は、原則、町長以下、各課長職までだ。それ以外の者の説明を要する場合は、説明員が説明させる者の氏名及び必要な理由を述べた上で、委員長の許可を得て発言させるようにしていただきたい。

また、その折の説明させる者の服装は十分注意されるよう、ご配慮願う。

それでは審議に入る前に、議会選出の浦 英明監査委員に、議員としての立場から平成 28 年度の各会計決算について報告をしていただく。 浦 監査委員

議選監査委員（浦 英明） それでは報告する。

平成 29 年 8 月 21 日から平成 29 年 8 月 30 日まで、平成 28 年度決算審査を実施した。その結果は決算審査意見書のとおりであるが、私なりにまとめた意見を報告する。

一般会計と特別会計を合わせた実質収支は 1 億 8,412 万 9,000 円。実質単年度収支は 1,625 万 6,000 円の黒字となっており、経常収支比率は前年度比 2.8 ポイント増加の 77.8%である。経常収支比率は 70%程度が適当とされ、75%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあると言われているので注意が必要だ。収入未済額は両会計を合わせて 3,359 万 8,000 円で、前年度比 159 万円の増となっている。部署によっては徴収努力がなされ効果が上がっているものもあるが、その額は依然として多額であり、今後滞納が固定化し不納欠損になる可能性もあるので、十分なチェックはもちろんのこと、債権管理台帳の整備等ともに時効が到来していないか等も目を光らせて綿密に対処されることを望む。基金は前年度比 1 億 7,459 万増の 27 億 7,773 万 5,000 円で、運用目的に従って執行されており、今後も確実かつ的確な運用に配慮願う。

28 年度一般会計歳出は養寿園増設、農産物加工場、西町教員住宅、運動公園グラウンド、野崎ビジターセンター、神官屋敷等の大型工事で、町債は前年度比 3 億 9,722 万 8,000 円の大幅増に伴い、地方債の現在高は 34 億 6,141 万 8,000 円となっている。先に実施された小中学校の建設と今回の工事、今後予想される公共施設等の大規模改修・更新工事等を考慮した時に財源不足が生じるものと思われるので、長期にわたる財政計画を立てて、町民にも周知方説明されるよう望む。

以上、報告を終わる。

委員長（土川重佳） ありがとうございます。

議長

議長（立石隆教） 先ほど町長から明日の決算特別委員会に対しての欠席届が出された。理由は、明日与党による市町の政策課題に対する要望を聞く会が急遽佐世保で開かれるようになった関係で町長と私が出席をするためである。よって明日の決算特別委員会は町長は欠席をするということなので、明日町長に聞こうと思っていることについては今日中に聞いていただきたいと思う。

委員長（土川重佳） 委員の皆さん、明日町長がいないということなので、ぜひ聞きたいということは本日中にお願いしたい。

これから質疑を行う。

一般会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款を追ってご質疑願う。

事項別明細書 13 ページから。

第 1 款・町

税

松屋委員

委員（松屋治郎） 1 款 1 項の町民税についてだが、平成 26 年 27 年 28 年の収入未済額が年々増加している。特に、金額は小さいが軽自動車税が 2.8 倍に増加している。軽自動車は納税しないと車検も受けられず乗れないという状況の中に、なぜ滞納が増えたのか。それと税務総務費の人件費が減になっている。このような中で徴収はうまくいくのか。税の徴収についての考え方を伺う。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 委員の言うとおりに、債権管理台帳の個別のほうのまとまりが遅れていたが、今年度 29 年度新たに 1 名配置されて、段々整ってきている。28 年度においては車税が少し多いということだが、たぶん今年度この分は入ると思う。車検が来ているので。悪い人は車検の時に 2 年分払ったりするので、払わないと車検が受けられないので、これについては 29 年度に入ると思っている。そのほかに関しては先ほど言ったように債権管理台帳が整いつつあるので、29 年度からについては競売、強制執行などで、田畑や、家に住んでない方がいればその家の競売等も考えていきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 町税の固定資産税が少しずつだが増えているが、将来不納欠損になる可能性がある気がするが、その辺の努力はしているか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 先ほども少し触れたが、債権管理台帳の個別の分が揃ってきているので、正確に条例に則って滞納処分をしていきたいと思っているが、固定資産税は、過年度分については 10 名が既に徴収している。件数的には 10 人減ってはいるが、現年度分も含めて少しまた増えている状況だが、これも条例に則って適切に滞納整理をしていきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） たぶんこれは 1 人の滞納分が、毎年少しずつ増えているが、結局、努

力してもなかなか入らないのか。それから町民税も214万ほどの未済額が発生しているが、これも昨年からすると少し増えている。この原因というか、なぜ取ることができないのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（西村久之） 固定資産税については、10名が過年度分は完納していると先ほど答えたが、それは確実に減っているが、増えている要因は金額の大きい方の未納があり、その分についても条例に則って差し押さえなどで対処していきたい。町民税も過年度分については既に6名完納している。その方の現年度分がまだ入らずに滞納として上がっているが、それも条例に則って適切な処理をしたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・地方譲与税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・利子割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・配当割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・株式等譲渡所得割交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・地方消費税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・自動車取得税交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・地方特例交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・地方交付税

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・交通安全対策特別交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・分担金及び負担金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・使用料及び手数料

横山委員

委員（横山弘藏） ここに収入未済額が22万7,400円上がっている。住宅のたぶん家賃が入っていないと思うが、大きい額ではないが、この原因について説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） この分は過年度の大口の滞納者2名分だ。そのうち1名は完納したが、28年度末の滞納者は2名ということになった。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 町営住宅は福祉住宅ということで結構安いと思うが、22万7,400円ということは何か月分も滞納しているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） 1年分ほど、1人の方が。今まで27年度は75万9,600円あり、28年度は47万9,900円ということで、その方たちをずっと徴収して、やっと22万7,400円まで持ってきたということだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・国庫支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第14款・県支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第15款・財産収入

今田委員

委員（今田光弘） 40ページだが、株式会社小値賀観光まちづくり公社出資金返還金で15万2,000円計上されている。出資金は20万円だったと思うが、僕も若干そこに絡んでおり、NPOと一緒にいる云々の時に、公社のほうは黒字経営でNPOは赤字経営だということで、NPOをなくして公社のほうに統一するという話だったが、金額が減っているということは実際には公社は赤字だったと考えていいか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 委員が言うとおりの出資金は当初20万円だった。代表清算人からの通知において76%の配分の15万2,000円ということで計上のおりだが、27年度の公社の経営状況に関する書類が手元にないので、黒字だったか赤字だったかは今わからないが、後で答えたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 76%という通知を受けた時点で、当然、減ることに対してどうしてかという問い合わせはしたと思うが、なぜなのか。そこはちゃんと質問したのか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 先ほど課長が答えなかったが、赤字だからということではなく、出資金だから資本金をどのくらい食い潰したかという問題だと思う。そういうことで70何%というのはいくらか出資金に食い込んでトータルで赤字になっていったものと思う。格別、清算なので問い合わせは私個人ではしていないので、担当課のほうも恐らく、出資金に食い込んでたということだと思う。儲かってれば全額返ってくるはずなので、それ以上のことは質問はしていないと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 後で出てくる財産に関する調書にも絡んでくるが、やはり出資した以

上、当然それが目減りするというのは、例え金額が小さくてもおかしいこと、やってはいけないことだと思うので、今後、やはりその辺、実際、財産も今幾つか出資金があるようだが、それはどのような状況になっているのかも含めて将来的にその辺のチェックはちゃんとしていくということで、よろしいか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 27年度の出来事ということもあり、私のほうで内容を承知していないが、当時の担当は、当然把握をしていたと思うので、その辺はこれからもこういったことが出てくれば担当課として対処していきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第16款・寄 附 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第17款・繰 入 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第18款・繰 越 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第19款・諸 収 入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第20款・町 債

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳入全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 次に、財産に関する調書の質疑を行う。（P.321～）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

しばらく休憩する。

27 : 48

— 休 憩 午 前 10 時 58 分 —

— 再 開 午 前 11 時 00 分 —

（総務課、住民課、福祉事務所、教育委員会 入室）

委員長（土川重佳） 再開する。

歳出に移るが、最初に総務課・住民課・福祉事務所・教育委員会関係を、款を追ってご質疑願う。

第1款・議 会 費 （P.51～）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・総 務 費 （P.51～77） 今田委員

委員（今田光弘） 総務費だけではなく全体的に係るが、ちょっと疑問に思ったことがあ

って、需用費だが、全ての決算のほうでは需用費ということでまとめて金額だけ書かれているが、当初予算では需用費の中身として幾つかちゃんと載っている。消耗品費とか食糧費、燃料費。当初予算に出ているにも関わらず決算では合計金額しか書かれていないと、僕たちはどういうふうにチェックしていいのかがわからないので、この辺どう考えるか。

委員長（土川重佳） 会計管理者

会計管理者（蛭子晴市） 決算書としてはこれまでもこういう上げ方をしており、前例に則って上げている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 前例はわかる。今までのを見ててもそうだが、現実問題、節までは議会としては本当はチェックしてはいけないというものもあるだろうが、予算に出ている以上、やはり決算にも反映してほしい。逆に考えれば決算で合計金額しか出てこないのであれば当初予算に載せる必要もないと僕は思う。その辺の予算と決算のズレがあるというのは、僕たちチェックする側としては戸惑う。できれば決算のほうにもその内訳を入れていただきたいと思うが、いかがか。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 予算については委員が言うとおりの詳細なところまで載せている。ただこれを決算書に載せるとなるとたぶん膨大な量になってくるのではないかと、一つは考えられるが、載せ方として、例えば事業名で上げるのか、細節、消耗品、例えば修繕料というような形で載せるのか、その辺りも含めて今後会計管理者とも検討しながらこちらで協議させてもらいたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 総務費の不用額が 1,000 万超えているが、内容を見てみると企画のところが一番大きいようだが、この不用額の見積もりの結果だと思うが、何が一番の原因だったか、不用額の発生について説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 不用額については 1,100 万という多額の不用額を残しているが、前年度と比べて約半分になったということで、28 年度は努力したということもお伝えしたいと思うが、企画費の不用額については、当初いろんな U・I ターンの事業を計画していた。けれどもなかなか計画どおりに実行できなかったということ、例えば移住モニターツアーの実施や町づくり人材の講演会であるとか、幾らか予定していた事業が実施できなかったことでの不用額が残っている。今後気を付けて取り組んでいきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 56 ページ、2 款 1 項 1 目 10 節の町長交際費の 3 分の 1 余りが不用額が出ているが、町長の活動は結構忙しいと見ているが、交際費はじゃんじゃん遠慮せずに使って小値賀町の高揚に努めてほしいと思うが、やはり使い切らなかったのか。その辺の説明を。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 前から言っているが、私が使っているわけではないので名前を変えてくれないかという話を前からしているが、私が直接使う場合もあるし、担当課で対応している部分もある。いろいろな交際費の使い方があるので、食糧費的なものも、冠婚葬祭、お祝い金とか御樽とかあるわけで、私とすれば、予算が余っているのでわかると思うが不足しているとは思っていないが、予算なのである程度確保しておいて余ったら節約したと思えばいいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・民生費（P.77～91） 松屋委員

委員（松屋治郎） 92 ページ、3 項 2 目 20 節の扶助費。生活扶助費が 359 万 3,414 円減、医療扶助費が 423 万 3,584 円前年度より増加している。この人数等含めた内容の説明を。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 成果報告書の 17 ページ。生活保護、生活扶助費だが、保護世帯が平成 28 年度は 28 戸、保護受給者数が 34 人、保護率が 1.37%で生活扶助の分が 23 人、住宅扶助が 15 人、教育扶助が 2 人で、扶助費が 1,331 万 3,000 円となっている。医療扶助を受けている方が 29 人でそのうち入院が 4 人、入院外が 24 人。決算額としては 3,162 万 5,000 円。介護扶助を受けている方が 5 人で決算額が 100 万 2,000 円となっている。27 年度は保護世帯は 29 戸、保護受給者数が 37 人、保護率が 1.47%。生活扶助が 26 人、住宅扶助が 16 人、教育扶助は 2 人で同じ。医療扶助は 29 人で変わらない。内訳もほぼ同じ。介護扶助も人数的には 5 人。医療扶助が 27 年度の決算額でいくと 2,740 万なので、この分が少し多くなっているが、入院外来の内訳はそう変わらないが、長期入院が多くなっている分で医療費が増額となっていて、これが増の主な原因。生活扶助については決算額で 27 年度は 1,690 万 6,000 円ほどになっているので、先ほど言ったように受給者数等が少し減っていることが要因と考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 82 ページ。負担金、補助及び交付金で、介護予防安心住まい推進事業 9 万 3,000 円というのがある。事業内容としては住み慣れた住宅で安心して自立した生活ができるよう転倒防止などを目的として 65 歳以上の高齢者が住宅改修を行う経費の一部を支援するとあって、当初予算は 100 万円だった。それが 9 万 3,000 円ということで、この内容について、伸びなかった理由を教えてください。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） この事業は介護保険認定を受けなくても住宅改修ができるという事業だが、今、県からも認定率を下げるよう言われている。それが住宅改修のみで認定を受ける方が多く、住宅改修が終われば介護報酬を受けないという方がいるので、それでもそういう人たちが認定を受けると認定率が上がるということで、ただ住宅改修をする

ためだけに認定を受けてるという方たちがいるので、それでも受けるためには2カ月から3カ月ほど認定を待ってからじゃないと制度が受けられないので、早急な対応をしたいということでこの制度を設けたが、所得制限等が少し要綱の中に入っており、住宅改修を受けたい人が所得制限にかかってこの制度を受けられないということもあり、利用率が少なかったということになっている。今後はそこら辺も含めて制度の改正が必要かと思っているので、検討したい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 90ページ、生活保護費の役務費の中に、当初予算では社会福祉主事資格認定通信科受講料というのが入っていたが、これは実際に受講したのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 結論から言うと28年度は受けている。1名。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 受けて、資格が取れたということでもいいか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） おっしゃるとおりだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

横山委員

委員（横山弘藏） 80ページ一番下の8節の報償費。独居老人ベル設置協力者謝礼だが、報告書によると新規が0、取り外しが2件、設置者が14人と内容が出ているが、最近、そんなに遠くないが、隣地区の方が、ベルを設置したいが協力してくれる人がいなくて困っているという話があり、私のうちが結構離れているが相談に来た方がいる。「離れているから近くの方にどうか」と話したが、そういったトラブルというか、思うようにベルが設置できない状況があると感じたが、その辺の状況はどうか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 独居ベルについては、有線と無線のベルがあるが、無線は電波で飛ばすが届く距離が限られており、距離が離れていると使い勝手が悪いし、有線については電線とか張り巡らせているので、簡単にここからこうということができないらしく、そこら辺は福祉事務所としても苦慮しているが、以前から言うとおりの独居ベルは少し使い勝手が悪いところがあるので、新たな、独居ベルに代わるものの検討を始めているところなので、その結果についてまとめれば、新たなことをやってみたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 孤独死などが起きないように努力してほしいが、やはりその地区の会長なり住民が、自分の地区内にいる高齢者のこういう対策については担当からも説明をしたり協力を願う体制を整えてほしいと思うので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 地区の民生委員とも協力しながらやっていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 先ほどの続きになるが、90 ページの社会福祉主事の資格を取ったという答えだったが、決算上ここに出てこない。当初予算では13万8,000円だと思うが、決算に出てこないのはどうしてか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 精査するので、答えを保留させていただく。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

— 休憩 午前 11 時 24 分 —
— 再開 午前 11 時 28 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 先ほどの今田委員の質問に答える。手数料の15万6,007円のうち、社会福祉主事の資格認定受講料ということで、その中に含まれていて、6万8,900円が受講料となっている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・消 防 費 （P.133～137）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・教 育 費 （P.137～161） 今田委員

委員（今田光弘） 教育費というか、教育委員会に関する事で質問させてもらうが、主要施策の成果報告書の31ページ。こども園関係で「保育士の確保が課題」と書いてあり、民生費のところで聞けばよかったが、いろいろ難しい問題が出ているということで、児童の受け入れが増えた結果、待機児童が出てくるのではないかという状態に対して、特にこれから先どのように考えているのか。聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 私がこども園の園長をしているのでお答えする。今田委員がご指摘のように、入園する子どもたちが平成28年度から増えており、今年度は特に大きく伸びている現状だ。委員たちもご存知のように、当然、預かるにはそれに対応するスタッフが必要で、0歳児は3人に1人、1歳2歳児が6人に1人、3歳児が20人に1人、4歳5歳は30人に1人という職員配置が必要だ。併せて小値賀こども園の場合は朝7時半から夕方6時半まで子どもたちを預かっているので、11時間運営しなければならないということで、結局、1人体制、例えば4歳5歳児の、1人ということであっても、実際には1人では対応できない。そういうことを勘案する中、町内の資格を持った保育教諭にも協力いただいているが、現状では限度いっぱいだと思う。平成29年度においては、町でも先生方の募集をかけており、何人かが応募しているようだ。そういう方々を町長とも調整しながらできるだけ採用にこぎつけて、先生を確保しながら今後の運営をしていきたい。特に0歳児は3人に1人ということで、現在は運営上は6人しか預かれない状況だ。これを少しでも緩和

して、現在、何人かの希望者がいるようだが預かれない状況だ。来年度以降は新たな有資格者を採用しながら、できれば0歳児については9人ぐらいまで預かれないかなと考えており、そこに向かって今後、町長とも話し合いながら努力していきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 実際に子どもをつくるのをためらう状況の人がいるという話も聞いているので、そこは本当にしっかりやっていただきたいと思う。それと施設の老朽化ということで、雨漏りに関しては町全体で調査して、ということは以前から聞いているが、実際、今年の大雨の時にものすごい雨漏りだった。御存じと思うが。そうたびたびあることではないが、やはりある程度、こども園の施設については対応が必要ではないか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） ご指摘のように、時間当たり50ミリなどの大雨が降った時には室内にザーザー漏れているという状況がある。施設の検査も一応完了しており、その中で子どもたちの安全のためにも町長と相談しながら優先的に対応したいと思っている。また施設全体にしても25年ほど経過しており、冷暖房や床など、ほかにも手を加えないといけないところも出てきているので、そこら辺も総合的に、町長と連携を取りながら対応していきたい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 先ほどの今田委員の質問の中で、こども園関係ということでこども園のほうで答えたが、一応、福祉部局として少しお答えしたい。子ども子育て保育料の軽減事業を福祉事務所のほうで始めたが、それによって実質無償化となったので、この事業の恩恵を受けて入園する子どもが多くなってきているのかなと思うが、認定をするのはうちの部局で、1号認定、2号認定、3号認定となるが、2号認定と3号認定が旧保育所の認定児となるが、保育を必要とする家庭の方ということで、こども園の制度ができて制度が少し緩和されている部分がある。1カ月に60時間以上働けば子どもを預けることができるとなっているので、少し仕事をするところがあればもう預けられることになり、預ける方が少し多くなっていると思っている。特に未満児と言われる0歳から2歳児が多くなっているが、先ほど園長が言ったように0歳児に至っては3人に1人の先生が必要なので、0歳児が多くなると先生の数も多くなり、今、小値賀町には有資格者が20名程度しかいないのでフル稼働してもなかなか人員配置が難しいとこども園からは聞いているので、園長が言ったように、こども園と協議しながら福祉部局としても対応していきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 150ページ、公民館費の13節・委託料。90万の予算が全く使われずにそのまま不用額となっている。どういうことか説明を。

委員長（土川重佳） 教育次長

教育次長（尾崎孝三） この委託料については、婦人会が行う婦人文化講演会で、2月に計画をしたが、時化で講師の先生が来町することができなかった。それで29年5月に改めて

開催したわけで、その委託料が丸々上がっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 先ほどのこども園のことで伺いたい。現在、私が聞いているところでは0歳児の待機者がいるということだが、この0歳児の対応、要するに4月1日から翌年の3月31日までが0歳児なのか、誕生日ごとに1つ上がるのか、その辺を伺いたい。誕生日ごとに上がるとすれば、0歳児は当然1歳になるので、0歳児の枠が空くわけで、1人でも入れることができるようになると思うが、その辺の対応はどうか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 何歳児という区分けは学年ごとでやっている。4月から3月生まれの子どもたちを0歳児ということで対応している。ただ、宮崎委員が言うように満年齢で1歳児になった時に、状況を見て特例的にその子を1歳児に上げることは可能だ。そういう部分については福祉事務所とも連携してやっているが、なかなか、1歳になってよちよち歩きする子どもを1歳児の子どもたちと一緒にしてしまうと事故が起きないかとかいった部分もあるので、そこら辺を十分に勘案しながら対応していくつもりだ。そういうことで、0歳児の待機児童がいるというのは承知しているが、まず安全性を重点的に考えながら対応していきたい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 他の自治体であれば1歳になった段階で1歳児に上げるところもあるようだが、基本的には同学年は同じ学年で、という捉え方をしているようだ。例えば、0歳児から入っていない子が1歳で入った時にどのクラスに入るのかという話が出た時には、これはよその自治体でやっていることだが、そういう場合は1歳児のクラスで、0歳児には入れない。満1歳になっているので1歳児に入れて、次の4月からは0歳児と同じ学年の子になるというやり方でやっているところもあると聞いている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） いろんなやり方があるとは思いますが、保護者の生活内容等を勘案してそのようにできるようにしたほうがいいんじゃないかと思うが、その辺の対応をお願いします。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） いろいろな意見が出ているが、予算主義を取っている以上、やはり年度当初に募集をしているので、できれば年度でやっていきたい。余裕があれば当然、途中から受けるが、それで補正をして、0歳児を生まれたから預かってくれと言われてもなかなか現実には難しいものがあると思うし、現場も大変混雑するので、私も「できれば」ということで担当とも話をしたが、やはり途中で大幅に計画が変わるといいことではないのかなと思う。ということで、特に0歳児については判定をちゃんと厳しくやってくれと、それともう一つは保育の観点から言っても、申し訳ないが何カ月かぐらいは母親のもとで育てるとというのが保育の原点だと、こども園をつくった時からこども園からしこたま言われているので、できれば半年間でも自宅で保育をしていただきたいなど。無料化し

たのが一つの原因になって、保育がおろそかになってはならない。それと先ほどから出ている職員の件だが、我々も採用試験をやっているが、なかなか補充ができていない。恐らく来年、30年度の見込みも今から立ってくると思うが、補充ができれば待機児童0というのは皆さんの希望だ。我々も目指してやっていきたいと思う。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今の一連の質疑だが、もう少し基準というか、0歳児とはどれくらいから入所を認めるとか、そういった基準をもう少し細かく設定して住民に納得してもらう方向で進んだらと思うが、その辺はどうか。

委員長（土川重佳） 教育長

教育長（吉元勝信） 現在は産休明けが終わった子どもについて預かっている。先ほど町長が言ったように、そこら辺をもう少し内部でも吟味しながら、6カ月児以降を預かろうかということも検討に入っているので、全面的にそこら辺の基準というか、そういうものを固めていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・公債費（P.161～163）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・諸支出金（P.163）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・予備費（P.163）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出全般についてご質疑願う。

今田委員

委員（今田光弘） 総務費のところの一つ聞き忘れた。地域おこし協力隊の六島だが、実績と事業評価の中身を見ると、いろいろ課題が現実的にあるように思う。事業評価一覧の7ページの一番上。これの課題と解決方法ということで、この辺について説明を。

委員長（土川重佳） 総務課長

総務課長（前田達也） 六島地区の集落再生については、現在2名が六島に通って作業をしているが、主な仕事としては耕作放棄地の一部解消ということで、草払いなどをやっている。この活動については住民の協力のもとにやっているが、今後、どうして六島を再生していくかという方向性というか、そういう協議を地区の方とやってもらっているが、なかなか地域おこし協力隊の意向と地元住民の意向が折り合わないところが問題点としてあり、今後、町としてもどこまで支援をやっていくかというのを今、協議している現状で、今後の活動については協力隊をはじめ、地区の方とそれぞれ話をして方向性を決めていきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

しばらく休憩する。

28 : 30

（教育委員会 退室）

— 休 憩 午 前 11 時 54 分 —

— 再 開 午 後 1 時 28 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

次に、総務課、住民課、産業振興課、農業委員会、建設課関係の歳出について質疑願う。

第4款・衛生費（P.91～101）

今田委員

委員（今田光弘） 衛生費の中の環境関係、ゴミ関係について尋ねる。成果報告書の28ページ。幾つかあるが、まず野崎島及び本島の海岸漂着物の回収事業を行って204立米の漂着ゴミを処理したと書いているが、実際問題のところ、例えばボランティアの方が回収したり夏の町民一斉の海岸清掃等によって実際多くのゴミを処理しているが、その中で場合によっては海岸で焼却という違法なことが行われていると思われる部分もある。これを今後に向けてもう少し考え方を変えて、もっと幅広く処理するような方向にいかないのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） 海岸漂着物については大変重要な問題ということで、常々考えている。先日、美化環境推進協議会というのを開き、皆様に今後どうやっていったほうがいいのかという話もしている。高齢化の中、地元は自分たちで守りたいということで、ある程度、車が入らない場所とか、船の入らない場所などを燃やしている現実もいたし方ないという声が聴かれている。今後は高齢化になっていくので、そうした中で海岸漂着物の事業をやって先ほど言ったように204立米回収している。これと合わせて若者でりっぱカンパニーというものがあるので、その人たちにもっと見本になるようなとかいうことは考えていきたいと思っている。それから、先日、県立大の学生が海岸漂着物関係のことも言っていた。それで学生もおもてなしのあるようなことであればボランティアとして参加したいと、一緒に小値賀をきれいにしたいということも言っていたので、そういうことも含めて今後考えていきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 海岸での焼却は100%違法だ。どんな理由であれ、特にプラスチックゴミというのは燃やしてはいけないので、よく考えていただきたい。もう一つ、大型の生ごみ処理機ということで今設置されていて、割といい状況になっていると思うが、あれは試験的に設置して、良ければ、ということだったと思うが、その辺についてはどうか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） やはりゴミの減量化も大事だということで、28年度に大型生ごみの処理機を3基購入した。場所は、1つは小浜町の新しい住宅の横にある集会所の付近、これは住民の生ごみ用ということで設置している。それからあと2基は焼却場の横に設置している。これは水産加工業者や大きな残渣が出るところを対象に設置した。その2基のうち1

基を3月初めから稼働して今7カ月ということで経過を見ているが、分解されるために促進剤を入れながら半年から1年かけて経過を観測するというので、今やっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。もう一つ、最後だが、老朽化が進んでいるごみの焼却場。これは去年、一昨年か、大規模修繕をして4~5年は持つと伺っているが、実際今の時点でそれから年数も経っているし、当然ながら、以前も質問したが、新しく建てるとなると環境アセスなども考慮しないといけないとなると、今の時点で計画しても実際建つことができない、時間的に無理ではないかと思う。町長は以前から「ごみを減らす」ということをよく言って、それはそのとおりだと思うが、実際これから先、焼却場を0にするのか、あるいは全部搬出するのか、その辺の方向をもう少し、今の時点でそろそろ出してもらわないといろいろまずいのかなという気もするが、いかがか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） このごみだが、何十億か、新しくつくるとなるとかかると思うが、方針を決め切らずにいるのは、持ち出す場合は当然受け入れ先が必要で、どこが受けてくれるのかという問題もあり、一番、言い方は悪いが手っ取り早いのは佐世保だと思うが、というのは宇久の施設は確かうちより改善がなされてなくて、佐世保市はあそこに新しい施設をつくるというのは絶対しないと思うし、そうすると佐世保に持って行くはずだ。その時に一緒にというわけにはいかないだろうが、小値賀のごみも共同処理してもらえないかという話を佐世保市としなければいけないと思っている。そのために、どこかで話をしたかと思うが、佐世保市が中枢連携都市の宣言をやろうとしているが、それでうちのほうと何が連携できるかという内容を詰めている最中だが、はっきりしているのは消防は今もやっているので佐世保も異議なく継続してくれると思うが、ごみは新たな問題であり、現実に佐世保市から「当分、小値賀のごみを受け入れる計画はない」との話も、正式な話ではないが出ているようで、今度11月に首長会があるので、その時に確かめたいと思っているが、議題として上げてくれるなという話も佐世保市から来ているとも聞いているが、ということで、次考えられるのが新上だと思うが、ここも結構老朽化していると思うが、可能なかどうか。これは前にも話したと思うが、新しくつくるのと持ち出すのと、当然、費用計算をしなければいけないが、2年か3年ぐらい前にやった結果ではあまり変わらないと、つくっても持ち出しても、そういう結論が出ている。ということで、今ごみの処理機の話が出ているが、これがうまくいってごみの量を極端に少なくできれば、持ち出すことも、場合によっては民間の施設もあるので、可能かと思うが、とりあえずどれくらいまで減らせるか、これは皆さんの協力が絶対必要なので、婦人会等にも呼び掛けてごみを少なくする、なくすのは難しいだろうが、そのためにも生ごみの処理をもう少し進めなければごみの減量化は難しいのかなと思っているところだ。ということで、ここ1~2年で結論を出すというのはなかなかすごい決断がいるのかなと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

末永委員

委員（末永一朗） 先ほどの小浜町の生ごみのことで何か良いアイデアがないかと思うのが、ビニールの袋ごと入れている。私も時々覗いてみて、フタにちゃんと「袋から出して入れなさい」と書いているのに、ナイロン袋ごと投げ込んでいるから、袋ごと入れると消化しないのだろう。何か良いアイデアはないか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） 今の時点ではアイデアというのはないが、今、直営で建設課のほうで管理している。そして会長に管理してもらっている。建設課でももう少し巡回して、ごみを捨てる人に注意をしていくということと、あと実際、会長や住民が現状を把握していると思うので、聞き取りによって現状把握して、どのようにしたら袋ごと捨てなくなるかを勉強していきたいと思うので、よろしく願います。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・農林水産業費 （P.101～123） 松屋委員

委員（松屋治郎） イノシシの捕獲頭数は129になっている。親子別とか地区別とかがわからないか。それによって今後の頭数が増える減る、移動経緯がわかるとは考えられないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 成獣が105頭、幼獣が21頭だ。地区別だが、野崎と小値賀本島でしか分けていない。詳細に分ければできるが、今の時点では野崎が35頭、小値賀本島が94頭という内訳になっている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 120ページの斑の種苗センターの件で、エゾアワビのその後の状況はどうなっているか説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 成果報告の23ページに少し記載しているが、今3年続けて種苗を購入しているが、1年目の種苗については非常に状態が悪かったのか、ほとんど残っていない状態で、2年目3年目については残っているが、今、手元に生残に関する資料がないので、後で答える。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 地域おこし協力隊の水産の担い手ということで、漁業研修生が1名いると思うが、その辺の状況を聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 1人いるが、去年の8月から地域おこし協力隊として研修に入って年度末で一旦卒業して、それから春のシイラ漬漁等に従事している状態で、このたび県の研修事業を使って新たに2年間の研修を行うという予定でいる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 実際に小値賀に定住してもらえそうなのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 数多くの方に指導していただいたが、今、斑の方でいわゆる親方的な存在の方がおり、その方の家に下宿するような恰好で、今暮らしている。本人は以前からずっと 1 人乗りの漁師になりたいという希望があって小値賀に来ているが、その気持ちが変わらずここまで来ているので、定住できるのではないかと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 114 ページ、林業費のところでは何うが、毎年松枯れ対策で県の補助金を受けながら、町の一般財源からも結構お金を出して頑張っているが、今年は特にたくさん松枯れが見られる。産建の委員会でも最近納島に視察に行ったが、山が紅葉のように赤くなっていた。しっかり対策を取っているにも関わらず松枯れがなかなか止まらない。今のままの対策を続けていっていいのかどうか、そろそろもう一度調べてみる必要があると思うが、その辺の現状の認識はどのように持っているか、担当課に聞きたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 現状取っている対策の効果の部分だが、言われるように今年は島の東側、納島、前方、それから中村のほうまで被害が広がっている状況だが、逆に柳、浜津、斑については被害が非常に少ないので、今まで取ってきている防除対策や伐倒対策に関しては効果があっていると認識はしている。こういう状態でずっと続けるのかということだが、29 年度の当初予算の特別委員会でも言ったかと思うが、今年度から松の保全に関する総合的な対策を考えていきたいと思っているので、その中で専門家の意見を聞きながら今まで取っている薬剤散布、伐倒駆除以外の有効な方法を見出していきたいと思っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） やるには相当な資金が要ると思うが、今私が感じるのは、この前納島に視察に行った時にたまたま初めて伐倒隊が入ったということで、産建の委員会に合わせたのじゃないかと勘ぐってみたが、完全に処理するのに 1 日で 4 本から 5 本が限度だと言っていた。倒した後に燻蒸とか焼却処分するには地元の人の協力を頼んでいるみたいなことを言っていたが、予算以上に不足しているのが人手じゃないかと思う。担い手公社に委託しているようだが、今後今のような状況でいけば慢性的な人手不足が続いて、伐倒が遅れていって最終的には六島みたいに枯れていくんじゃないかと心配しているが、その辺の人手不足の問題については何かいい考えがないか伺いたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 言われるとおり、今、松の伐倒駆除に関しては担い手公社が受けている。話を聞いてみると伐倒作業にかかっている時間が朝から 2 時半か 3 時ぐらいまでで、それ以降になると火の始末等もあるので、伐倒にかかる時間は 2 時半、3 時ぐらいまででやめないといけないという現状がある。それで 4 本 5 本ぐらいが限度と聞いている。そういった中で、今回 13 日の補正予算にも計上しているが、今回の被害量が今までにない

大きな被害になっているので、町内の業者だけでは対応が追いつかないところもあるので、森林組合や造園土木の業者などといった町外の事業者にも参入を呼び掛けて体制を構築したいと思っている。加えて先日、被害が多い地区の会長に来てもらい、集落の協力もお願いしているので、町外事業者の参入、集落の協力という形でなるべく早く処理をしていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 末永委員

委員（末永一朗） 118 ページか、観光ダイビングのスポット調査とあるが、成果報告書にもスポット調査となっているが、これは小値賀のどこかを泳いだということか。説明を。

産業振興課長（中村慶幸） 年度末の 3 月に実施している。町内のスポットを探しているが、場所については空港沖の浮き灯台のある周辺。それから赤島の南から南東側にかけて。それから斑島の南西部から広瀬にかけて。それからホゲ島の西側。それから六ツ瀬周りというふうに小値賀町の管内のスポット調査をしている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 個人的なことだが、古路の後ろもいいところがあると思う。活性があって、アラが入る洞窟などがある。それから六ツ瀬は「ふかあな」というのは聞かなかったか。ちょっと南から外れたところに浅瀬があって、そこが大きな洞窟になっている。そこら辺も一つ、いつか見てください。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今年度も 7 月から年内にかけて 3 回ほど調査をするようにしているので、そういった中でまた情報をもらえれば、天気や風次第ではあるが、行ければぜひ行ってみたいと思うのでよろしく願います。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 先ほど末永委員の質問に保留をしていたので答える。種苗センターのエゾアワビだが、初年度に買っているのが 2,700 残っていて、2 年目が 1,100、3 年目、29 年 3 月に購入したのが 4,400 残っている状態だ。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） そしたらこの稚魚の購入は孵化して 1 年目ぐらいのやつを買っているのか。各年の経過年の中心的なサイズはどのくらいか。それはわからないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 購入は言われるとおりの卵ではなく種苗として県の栽培公社から買っているかと思うが、購入時の平均サイズが手元に資料がない。恐らく 20 ミリ前後で購入しているのではないかと思う。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） また関連質問ですまないが、この成長率は、順調に育っているのか。そしてまたこれは放流せずに水槽の中でするつもりか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） 後先の答弁で申し訳ないが、放流はしない。食べることに専念する。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 順調に生育しているかという質問があったが、3年前に購入したものは平均で50ミリ、5センチ程度だ。2年目のものは4センチ、今年購入したものは36ミリ、4センチ弱だが、種苗センターでつくっている黒アワビの経験で言うと、2年目で20ミリから30ミリぐらいになるので、3年目で50ミリから60ミリ。そう考えると、20ミリで仮に買ったとして、生育は決して良くないのかなと思っている。そういう中で、今は陸上飼育を実施しているが、隣の新上五島町の栽培センターあたりの話を聞くと、意外と「カゴの中に入れて海面で飼って結構大きくなるよ」という話を聞いているので、今後はそういった方向で、海面養殖試験とかも実施して行って成長率を伸ばしていきたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・商 工 費（P.123～129） 横山委員

委員（横山弘藏） 126ページの観光費のところの、これも不用額が2,200万、2,300万余り出ている。見てみると19節の負担金、補助及び交付金のところが750万から不用額が出ている。この主な要因について説明を。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 不用額の主な要因だが、観光圏の負担金の残が約380万ある。それから五島列島おもてなし協議会の残が150万ほどある。それからしまとく通貨の負担金、あ、すいません、農林漁業体験民宿施設等の整備事業補助金が150万ある。それから観光費の印刷製本費であるとか、自然公園総合整備事業の負担金が50万程度ある。というような恰好だ。執行残の理由だが、観光圏事業と五島列島おもてなし協議会事業に関しては、事務局がそれぞれ外部にある。そういった中で決算見込みを固めるのに事務局のほうで時間を要していて、最終補正で整理が間に合わなかったという事情がある。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 今、話にあった農林漁業体験民宿施設整備等補助金ということで150万円計上されていて、実際に民泊民家のほうでも何軒かが昨年7月に見積書まで提出している。その後何の連絡もなくこれが下ろされているというのはどうしてか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） この事業に関しては、財源に民都機構の交付金、まちづくりファンドを充当しようと考えていたが、対象が、民間が行うハード事業という要件があり、年度当初にIT協会に取りまとめを依頼していたが、結果として計画申請がIT協会から出てきたのが29年の2月だったということで、残りの時間を考えた時に執行が間に合わないという判断で、結局未執行になっている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） IT協会からの申請が2月で遅くなって結局流れてしまったが、僕ら民泊民家としては非常に期待していた。ITがいけないと言えばそのとおりだが、その辺でもう少し連絡を密にとってできなかったのかというのは素朴な疑問としてあるが、いかがか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 何度か状況確認をしていたが、IT協会の理事長の交代であるとか段々繁忙期に入っていったり、そういった調整等がつかずに、IT協会が対応できなかったということがあったと思う。そういった中で、先ほど言ったように何回か状況確認していたが、最終的に計画申請が出たのが29年の2月だったという状況だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 成果報告書の26ページに出ている観光パンフレット等印刷費ということで、総合観光パンフレットの増刷7,000部66万とあるが、総合観光パンフレットというのはどれを指すのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 浜津のおばあちゃんが載っているあのパンフレットだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） わかった。新上五島にしても五島にしても佐世保市にしても、もう少し総合パンフレットってわかりやすいというか、例えばフェリー太古に置いたり、観光窓口に置いたり、そういうパンフレットというかりふレット、もう少し違う形のでバラまいたほうがいいのではないかと思う。増刷ということで、あまりお金を使わないようにしていると思うが、パンフレットをもう少し見直すような考えはないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 言うとおおり宇久などはフェリーにパンフレットを置いたりしているので、そういう意見を踏まえてまたパンフレットを製作する際に考えていきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 横山委員

委員（横山弘藏） さっきの観光費のところの不用額でちょっと尋ねてみたが、何がどのように使われなかったのかがもう一つよくわからなかったが、こういう多額の不用額が出る場合には前もっての減額補正とかもうちょっと、こういう金額が上ってくるというのはどういうものかと思うが、その辺難しいのか。さっき聞いたがもう一回聞いてみたい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 執行残の件だが、佐世保との観光圏事業や五島列島おもてなし協議会等の残が大きいですが、両事業とも事務局が、観光圏事業は佐世保のコンベンション協会にあり、五島列島おもてなし協議会に関しては県の五島振興局が事務局を担っている。そうした中で、事業の整理をして最終的に清算を行う際に、どうしても、うちが最終補正が2月だが、そのタイミングに決算の見込みというのを出せていない、情報をもらえていないという事情がある。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） これは負担金だ。だから1回年度当初予算で協議会の予算が決まると、それだけ負担をしないといけないので、概算で払ってるような感じになるが、清算するのはほとんど6月になる。総会がほとんど6月なので、その時に清算をするという仕組みになっている。そういうことで、うちの事務方ではなかなか2月3月までに金額が余るといふのはわかっているが、幾ら余るかわからないので、最終的には幾らか不用額が残る、ドンピシャということにはならないので、その点をご理解いただきたい。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 地域おこし協力隊の件について伺う。事業評価一覧の最後のページ、8ページだが、商工費、地域おこし協力隊の野崎島自然体験受入拡充事業ということで隊員が配置されていたが、今後の方向性として継続ということで「観光振興を行うためにはIT協会の役割は重要であり、今後、人的な補充並びに人材育成により」云々と書かれているが、今の体制のまま同じようにまた地域おこし協力隊をITに入れようとしているのか、その辺、IT協会の現状を踏まえた上で聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 今の時点でIT協会に協力隊を入れる予定はない。まだIT協会からの要望もない。今後事情が変わる可能性もあるが、それに際しても、今田委員が言うように今IT協会は職員が6名だったと思うが、なかなかその中で本来NPOとしての活動というか、私も再三求めているが、自分たちが事業活動をするというのももちろん組織を運営する上では必要なことではあるが、やはりNPOとして観光振興を進めていく人材の育成とかにも尽力してほしいという話もしている。そういった中で、本来NPOとしての地域の人的資源を生かす活動をしてもらうという前提のもとで、今後、協力隊は考えていくことになると思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） よくわかった。その下の地域おこし協力隊、古民家レストラン藤松、今遠山さんか、2人いて、平成30年の7月までで、あと1年切っているが、彼ら自身の生活もあるし、もし彼らが辞めるとなると次の人を探さないといけないということで、余り時間的な余裕がないと思うが、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） この地域おこし協力隊、前段の分についてもまとめて答えたいが、趣旨にちょっと違うような方向に動いているのかなという感覚を持っている。そういうことで、3月末で上の段については、任期が一応1年1年の任期にしているので、その時には十分考えさせてもらいたい。下の部分についてもレストランの運営は今のところ指定管理でIT協会にお願いしているのでIT協会とも相談するが、当然のことながら、たとえば怒られるかもしれないが、地域おこし協力隊は小値賀町に根付いてもらいたいということで、任期が切れた時でもできるだけ小値賀に就職してくださいねということで採用している経過もあるので、ただ古民家レストランにおいては、まずはIT協会が考えるべき問題だという感

覚でいる。ほかの地域おこし協力隊についても段々と方向性が、何年もおれば自分の仕事をしたい人もいるだろうし、どこかで働きたい人も出てくると思うので、最初に我々が採用試験というか、あれをした時と、働けばいろいろと変わってくるのが筋かと思う。意向も聞きながら、一応 1 年契約が原則であるので、そこをもう一回再認識してもらい、少し立て直しを図っていかなければならないのではないかと。全体的に、ほかの地域おこし協力隊も含めてそういう感覚を持っている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 地域おこし協力隊についてはよく耳にすることがあるが、配置された職場で思うように動いてくれないとか、例えばトイレ掃除を頼むと「私は地域おこし協力隊としてトイレを掃除することには関わっていない」とか、自分の思う仕事じゃないと気持ちよくしてくれないとかいった話をよく聞くが、協力隊の意味は趣旨を読んでも、やはり地域の活性化に資するというのが第一目的で、何をしたいかにをしたいと選ぶというのはなかなか難しいと私は感じている。そういう意味において、せつかくこれだけの予算を使って地域おこし協力隊を招き入れているので、採用する時にもう少し協力隊としてどういうことをしてもらおうかということ認識してもらって、しっかり小値賀町のために、任期の間でもいいから取り組んでもらうよう教育すべきではないかと思うが、その辺いかがか。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） さっきも言ったが、それがわかっている問題はないが、小値賀に来てから考えが変わる人もかなりいる。そういうことで、我々が最初に言った話とちょっと違うなというのがよくあるので、そこを十分気を付けて、入れる時にある程度「こういう仕事をしてもらいますよ」ということを言っているんじゃないかと私自身は思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。 今田委員

委員（今田光弘） 野崎島のグラウンドの改修が、商工費だったと思うが、違ったらごめんさい、かなり最初のころひどい状況になっていて、その後今年確認したら砂が入っている状態だったが、その後見ていない。完全に安全な状態になったのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 復旧事業は今からになる。町道の改修事業と合わせて実施することになっている。

委員長（土川重佳） 町長

町長（西 浩三） ちょっと補足するが、あのグラウンドの陥没というか、あの原因も調査しなければ、早く埋めてもまた崩れる可能性があるので、その調査をしている。恐らく水が入って、あまり流れてなかった水路に水が入るようになったことが主な原因だろうと思っている。ただ県も去年復旧工事をやっているんで、毎年復旧工事というのがなかなかやりづらいということで、幸いうちのほうは今発注していると思うが、野崎の道路の整備に持ってきた土を入れて埋め戻しをするのと同時に、手前の水をあそこに入らないように

する措置をしているので、それでほぼ大丈夫かと思っているが、復旧については予算も伴うので、29年度で、元に戻すだけになるかもしれないが、そういう工事を予定している。主な原因が、どうも砂だけ埋めたんじゃないかと、あの土地を造成した時に。だから吸出しが特にひどいことが原因になっているようで、これは県の自然環境課と話をしながら改良をしていきたいと思う。早く直してくれということで、夏までにやろうとしたが、今言ったようなことで原因もはっきりしてないのに工事をやるわけにはいかないということで、大体原因がつかめたと思っているので、来年の春先までにはある程度の使用ができるように回復できていると思っている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） そうすると、決算書 130 ページの真ん中にある自然公園総合整備事業負担金という 202 万 4,000 円、これが多分その費用になると思うが、当初予算の時に本来言っていなければならなかったが、県の施設だ。それに対して町がここまで負担するのかと疑問には思っていたが、実際それが予算も通っているわけだが、今町長が言ったような簡易的な復旧というか、その部分だけでこれだけの予算が使われたということか。

委員長（土川重佳） 産業振興課長

産業振興課長（中村慶幸） 決算書に掲載されている自然公園整備事業負担金だが、先ほど町長が言ったように 28 年度に復旧事業を行ったと。その時の地元負担金として上がっている。総事業費は 809 万 7,840 円で、4 分の 1 負担だが、今、29 年度に起こっている陥没はまた別に復旧事業を行うわけだが、それに関しては一度復旧したところの再度の陥没ということで、負担金は発生しないようになっている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 7 款・土 木 費 （P.129～133） 今田委員

委員（今田光弘） 成果報告書の 28 ページの住宅関係、土木に入るかどうかちょっと定かではないが、住宅関係の中で、南川団地、昭和 47 年度に建設ということで、築 45 年たっている。かなり老朽化が進んでいるのではないかという気がするが、これは建て替えとか大規模修繕とか、これから先考えているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（橋本満） 南川団地は言うように老朽化している。しかし 28 年度に屋根の修繕、葺き替えをした。屋根だけでいったらそれで 30 年は大丈夫だ。ただ本体は修繕の度合いによって変わってくる。ということで、今のところ建て替え等は考えていない。「なんごう住宅」が正式な呼び名だ。場所はセンターの裏のほうに平屋で建っている 4 戸分の住宅だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 10 款・災 害 復 旧 費 （P.161）

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

次に、明日は町長が不在のため、特別会計全般で質疑はないか。町長にちょっとこれだけは、というものはないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

（執行部 退室）

— 休 憩 午 後 2 時 35 分 —

— 再 開 午 後 2 時 40 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

一般会計について質疑を行ってきたが、特別委員会として、一般会計についての意見を伺い、整理をしたいと思う。

皆さんの意見を賜りたいので、我はという人は。

横山委員

委員（横山弘藏） やっぱり町税の滞納が、課長はいろいろ言っているが、大して改善はできていない。毎年少しずつ上乘せられて滞納額が増えている。そして不納欠損になる時には、多分滞納した人が行方不明になるか死亡するか破産するか、という状況になると小値賀町はどうしようもないので不納欠損の処理をしないとイケない。でもまだその人が健在で、5年間の執行猶予があるが、滞りなく再請求はしていつていると思うが、ずっと同じような状況が続いていくというのは良くないと思う。この辺でちゃんとした行政側としても対応をそろそろやってもいいんじゃないかと思う。それから町民税も少しずつ増えている。そういったところもよく十分注意して、ちゃんと税金を納める人と不公平にならないように努めてほしい。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） それと今年は、26、27、28年で滞納が増えている。それと新たに軽自動車税というのが極端に増えている。これは大体、税金を納めないと車検受けられずに乗られんはずだ。不法投棄しているのか、今言うように車検切れで運転しているのか。いろいろなことが出てくると思う。なので危ないからこの辺を気を付けて滞納させないようにせんといかんと、来年度は国民健康保険税が上がるので、税の徴収体制をもうちょっと強化して整えていかないとイケないと思う。

委員長（土川重佳） 人間には4つの義務を負わされているので、わかるか？教育を受けて働いて、そんだけしてもらったから納税をしなさい、そして健康管理センターに行きなさい。これが今、小値賀町の4つの義務なので皆さんよく覚えとってください。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 同じく税金で言うと、そういう中でも債権管理台帳ができつつあるということで、特に固定資産税の場合はそれを利用して競売も考えていきたいと言っていたので、それは大きな進歩かなと思ひ、今年度以降いい形になっていくのかと評価したい。そのほか気になったのが、質問もしたが、当初予算では需用額の中身がある程度細かい細目まで出しているが、決算では需用額ということでまとめて金額が出ている。悪く使おうと思ったら飲み食いに使える予算だ。そこを僕たちはチェックしないとイケないと思うと、本来やはり当初予算に出でているせめてもの分類は決算上も上げてほしいと、これは本当にブラックボックスになってはイケないと思うので、情報公開という意味でも進めてほしいと思う。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） みんな思うことは一緒で、やはり毎年のごとく税額の改善がされていない状況であり、その上に人口減によって地方交付税も少し下がっている状況だ。こういうふうには滞納者が出たり、交付税が下がると財政的に厳しい状況になるので、やはり未済額を何としてでも取り立てるような、もう少し厳しい状況で取り組んでもらいたいと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 私が気になったのは、やはり待機児童の件だ。私が聞いたところでは1人か2人待機児童がいるが、今3人で1人の教員が要るのか。で、6人ということだが、1人2人であるならば、私の言ったとおりの満年齢でしてその時点で繰り上げて入れてもいいんじゃないかと思うが、その辺の感覚がまだあやふやというか、将来的には9人体制にしたいという要望はあったが、将来9人よりも今の1人が大事だと、これを無償化したのはやはり若いお母さんたちが安心して働ける環境をつくると、それが人口の増大につながるという初期の目的がある以上、やはりそれに一生懸命対応してほしいという気がする。次に地域おこし協力隊のあり方、我々もいろいろ問題をあちこちから聞いている。特に六島などはもう梅男さんと口もきかない状態ということで、名前を言っていないのかわからないが、宮本君あたりはあそこの伐採をしたいじゃなくて、あそこで生きる、いわゆる自然体験を主体とした活動を行っているのが主なもので、やはり初期の目的とは違うのかなという気がするので、その辺をもう一回きちっとしてほしいとは思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

委員（横山弘藏） 決算書の認定をこうして特別委員会でやっているが、毎回気になるのは、不用額が出ている。不用額が、説明を聞いていると当たり前みたいな説明がある。仕方ないみたいな。しかしやっぱり決算書なので、そういった過大な見積もりをなくす方向でもう少し努力してほしいということをおきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

今田委員

委員（今田光弘） ちょっと決算とは外れるかもしれないが、さっき僕が質問した中で、こども園の雨漏りが、僕は知らなかったが、先日の雨の時もひどかったようだが、バケツにジャバジャバ溜まるくらいの雨漏りが現状だそうだ。本当にひどい状態で、それであえ

て質問したのは、町長ももう少し認識してほしいなというのがあったが、これは議会としてもちゃんと見ていかないといけないという気がした。

委員（横山弘藏） 建物の屋根と屋根の間に溝があるが、それが小さいから大雨の時は乗り越えてくる。だからあれを完全に分離して、教育長も言っていたが、そういう問題は一般質問でもいいと思う。あそこは床の問題もあるし、だいぶ直しているが、次から次へと問題が出てくる。視察も1回行った。

委員（今田光弘） 町長の認識が余りないので、僕らが言ったほうがいい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 採決は、特別会計の質疑及び意見を聞いた後に行う。

以上で、本日の委員会を終了する。

特別会計は明日11日、午前9時30分より開議する。

お疲れ様でした。

— 午 後 2 時 50 分 散 会 —